

## VOCの公開測定 続報!

前号(47号)で紹介しました自然素材の家の測定結果ができました。

簡易測定器(ホルムアルデヒドキャッチャーJ1)による速報値ではホルムアルデヒドが、0.1ppmと高い値を示しておりましたが(財)労働科学研究所による詳細測定では非常に低い値を示しました。また、揮発性有機化合物(トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン)についても良い結果を示しました。(下表参照)。しかし、トータルVOCsについては予想どおり高い値を示しましたが、この40%位は、木材から発生するテルペン類と推定されるためこの指針値については見直されるそうです。

測定結果

気中濃度  $\mu\text{g}/\text{m}^3$

厚生省指針値		ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	パラジクロロベンゼン	トータルVOC
測定場所		100	260	870	240	3000以下
5/13	居間 (1階)	6.3	36.0	20.0	0.9	658
	和室 (1階)	2.9	70.6	48.0	1.7	1456
	子供部屋 (2階)	1.0	38.1	28.5	1.5	1048
	ウッドデッキ (外気)	1.9	43.3	26.1	1.0	572
5/14	居間 (1階)	24.5	87.3	115.2	20.0	7671
	和室 (1階)	23.4	96.1	160.9	14.3	13181
	子供部屋 (2階)	12.1	85.8	112.9	21.8	8203
	ウッドデッキ (外気)	2.9	8.7	6.8	1.1	444

(5/14は一晚窓を閉めきった後の測定値、トータルVOCは3000以下で刺激や不快感を感じる可能性がある)

以上の結果から材料だけでなく、室内の自然換気を促進する工法の研究も必要と思われます。昔、徒然草で吉田兼好が「住宅は夏を旨とすべし」と言ったように湿気の多い日本では通風が特に大事です。また、アメリカ宇宙局では、宇宙船内の生活環境システム開発の研究で室内観葉植物による空気浄化機能も検討されているそうです。室内に緑を持ち込むことで自然のきれいな空気を供給出来るようになるかもしれませんね。

### 《情報》品確法の表示基準の説明会が予定されています。

4月1日より、10年間の瑕疵担保責任がスタートしましたが、住宅の性能に関する表示の適正化を図る住宅性能表示制度がこの秋より施行される予定です。これに伴い、鹿児島市の自治会館(8月13、21日)を皮切りに来年3月までに県内12ヶ所で、のべ40回の講習会が計画されました。3回目以降の日程はまだ確定していませんが分かり次第お知らせいたします。なを、今回の講習は前半は6時間程度のかなりボリュームのあるものに、後半は3時間程度の具体的な内容になるそうです。

《定休日》7月は2, 8, 9, 15, 16, 22, 23, 30日になります。

8月は5, 6, 13, 14, 15, 16, 20, 27日になります。

御協力宜しく願います。

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)

